とても悔しいですが、これは事実なので認めざるをえませ 「……美少年ですね」

いう記事。載ってる写真は大きいです。

先輩から新聞を受けとります。王子様の騎士団本部視察と しみこしか

「マすがに記事にはなってないけど、プロポーズ自体は本当 ン先輩は新聞を見せてくれました。

では十四歳から成人として認められるそうですからね。ケイ したらしいです。十三歳と侮ってはいけません。あちらの国 まだたった十三歳のその王子様がルビー先生にプロポーズ 「昨日、魔法大国の王子様が視察に来たろ?」

継ぎました。

ケイン先輩は、お前もか、とでもいいたそうな顔で言葉を

たしたち女性職員のアイドルー 王子様! ルビー先生! もラフですし、お菓子を差し入れたときの笑顔は爽やか。わ なんと王家のお姫様。それなのに全然気取ってなくて、眼装 セクションに所属する獣医師、ルビー先生は家柄も高貴です。 い黒髪、黒い瞳。この竜騎士団本部で研究も騎乗も行う花形 しょう。女性なのにすらりとした永遠の少年みたいな体、短 相手が誰だか知りませんが、お目が高いとはいっておきま

「ええええええええええん

「ルビー先生がプロポーズされたんだって」 隣の席のケイン先輩に釣いてみます。

「おはようございます、どうしたんですか?」

出動すると事務所の先輩女性たちが騒いでいました。

[アンナー たみし といれ、 海脳 展って か トー]

新聞記事に見入っていましたが名前を呼ばれてはっとしま した。そうだ仕事。このもやもやは仕事で発散しないと…… 手渡された書類、ルビー先生が書いた備品購入の申請書です ₹0.....°

ルビー先生のいるフロアに行って不備部分を指摘すると、 手間をかけてごめんなさいね、と謝られました。不備がある のは仕方ないです。けっこう煩雑な書類ですし。不明だった ところを確認して書類を仕上げていくのが私の仕事なので、 全然手間だとかは思わないです。書類を仕上げ、どうしても 訳きたくて問いかけました。

「おの、ルビー先生……」

なんですか、と先生は首をかしげました。

「プロポーズされたって本当ですか?」

ぶふっと吹きだすルビー先生。

「子どもだよ? 今夜にも国に帰ったやうし」

子どもの戯れですよ、と笑い飛ばす先生は、竜のことが本 当に大好きな人なのです。

《おしまい》

വ

王ピ 14 の先 恋生 14 · 合が 畬剡 多る 循晶

> 法 大国 N

9 17

9

9,

甜 J 到

T

花坐に除ってくだかりありがとうございます。 こちらはキンドルで配信しております『王子の恋』 というお話の拳斗艦で、木編の第一語へらいの頃の な淵がす。

『王子の恋』は魔法の国の王子様と男装電騎士姫の 歳の差ロマンスのお話で、 再予版はテキレだという イベントにて領布しました。ほぼ初稿はピクシブに 上げたままなので碩張れば無料で読めますが、無料 で読めないお話を一話だけ冊子及びキンドル版に入 れておりますのでよろしければぜひお読みいただけ ればと思います。右ページより本篇のキンドラへ、 たどり着けるはずです。ではでは。

> 二〇一九年 六月八日 氷砂糖・拝



籠解放会 王子の恋